

種名	カモメ Larus canus 												
分類	チドリ目カモメ科												
特徴	模様のない黄色いくちばしと脚を持ち、セグロカモメとよく似た羽の模様をした中形のカモメ類。ユーラシアと北米大陸西半部の亜寒帯から寒帯で広く繁殖し、日本には冬鳥として渡来する。												
生活	越冬期にはセグロカモメ、ウミネコ、ユリカモメなどと混群を作り、海岸、港、河口などに見られる。個体数はあまり多くなく、数羽から数十羽が見られる程度である。内陸部に入ることは稀である。行動は他のカモメ類と同様で、水面や岸辺で魚のアラなどや弱って浮いてきた魚をついばんだりして餌を求めたりする。												
声	かない甲高い声で「キュッキュツ、キュー」とか「キャッキャッキャー」というような声で鳴くことが多い。また少し濁った声で「ギョッギョツ」と鳴いたり「ヒーヤ」と聞かれる声も出す。												
見分け方	セグロカモメによく似ているが全体に小さく、脚は黄色く、くちばしは細くて黄色い。目が黒っぽいなどが特徴である。												
時期	(月)	1	2	3	4	—	—	—	—	—	10	11	12
その他	全長(L) 45cm 翼開長 (W) 115cm												
参考文献：山溪カラー名鑑　日本の野鳥													